

ゴミ減量4コマ その17 意識から変えて目指そう 循環社会

5Rって知ってる？実はリサイクルは5Rの中では最後の手段なのよ。5Rの行動の順番について説明するわね。

わが家も循環型社会に向けて取り組んでいきたいわ。まずはリサイクルがからし。

**① Refuse もらわない**

★余分なものを買わない

**② Reduce 減らす**

★ごみの量を減らす工夫をしよう

なるほど

**③ Reuse また使う**

★マイバッグ、マイ箸などを使おう

**④ Repair 修理する**

★簡単な修理・補修で直せるものは直そう

うんうん

**⑤ Recycle 再資源**

ここまですべてやってみてもダメなものは資源物としてリサイクルするのよ。

なるほど！  
普段の心がけが大切なのね。

## ごみを減らすために、身近なことから始めましょう！

これまでの「大量生産、大量消費、大量廃棄の社会」から、環境と経済が両立した「循環型社会」への転換が求められています。ごみの減量・資源化を意識した生活を送りましょう。

### 生ごみの「ひとしぼり習慣」(水切り)や資源化(堆肥化)を行いましょう

生ごみの大半は水分です。出す前に「ひとしぼり」することで、かさの減少や悪臭防止の効果が期待できます。また、生ごみ処理機による堆肥化を行うと、生ごみがごみではなく、土に還る資源となります。生ごみ処理機などの購入費の一部補助制度をご活用ください。



### 商品購入時に必要のない包装は断りましょう

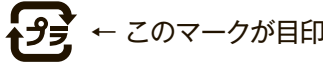
お店でついついもらってしまうレジ袋や包装用の袋。何かに使えそうと思ってもらっても、結局使わずごみになることもあります。マイバックを持参し、必要のないレジ袋や包装紙、手提げ袋は断りましょう。

### 使い捨て商品の使用を控え、再生品を使用しましょう

日用品の中には本体より小さい詰め替え用が製品化されていることも最近では多く、詰め替え用を使用することで排出するごみを減らすことができます。購入時は、繰り返し使える容器や詰め替え用の容器を選ぶことを心がけましょう。

### 資源物の分別収集の徹底をお願いします

○お菓子の袋や食品容器、ペットボトルのキャップ・ラベルなどには、プラスチック製容器包装のマークが表示されているものがあります。比較的きれいな状態のものは洗浄して資源ステーションの黄色いネット(週1回)に出してください。



- 紙袋や包装紙などの資源化できる資源物が可燃ごみの中に入っていることがあります。きれいな状態の雑紙は、資源ステーション(月2回)に出してください。
- PTA・市民団体などが主体となって実施している資源物の集団回収にも、積極的にご協力ください。

## ごみ処理の有料化の検討について

ごみ処理有料化の実施により、排出量に応じた負担の公平化やごみの排出抑制、再資源化の推進など市民の意識改革が期待されます。その結果、ごみの減量化や処理施設の運営に係る費用の削減を可能にすると考えられます。

生活系ごみ収集手数料(粗大ごみを除く)について一部または全部を有料化している市町村は、全国の市町村の6割以上と年々増加しています。そのため、今後市においてもごみの排出量やそれにかかる費用の削減状況、周辺市町村の有料化へ向けた動向などを把握した上で、有料化の導入について検討を進めることとなります。